

上越名家・瀧本邸「集義園」の 苔庭を守り育てよう!



2026

3/14 (土)

会場：ユートピアくびき希望館
上越市頸城区百間町716

第2会議室
025-530-2360

◆瀧本邸ガイド付き見学会 10時30分～12時（その後希望館にて昼食）
◆フォーラム13時30分～16時30分（開場13時）
定員：フォーラム70名、見学会15名 申込：二次元コード又はFAXにて
料金：フォーラム無料、見学会は協力金、ガイド、お弁当付で2,000円

基調
講演

日本庭園の楽しみ方と瀧本邸「集義園」の魅力

講師/庭屋一如研究会 主宰 藤井哲郎 氏（邸園文化伝道師）

活動
報告

頸城の名家、白田邸と瀧本邸での今後の活動

報告/上越の歴史的建造物と景観を守る会 代表 磯田一裕

- ◆テーマ1：瀧本邸「集義園」・上越一の苔庭を守り育てるには？
 - ◆テーマ2：市民に愛される瀧本邸「集義園」のあるべき姿とは？
- <パネラー紹介> ◆藤井哲郎氏（庭屋一如研究会主宰） ◆瀧本宣弘氏（瀧本邸15代ご当主）
◆宮崎俊英氏（高田文化協会事務局長） ◆伊藤春男氏（楢英香園会長）

パネル
ディス
カッション

主催：上越の歴史的建造物と景観を守る会

お問合せ： 当会代表 磯田 一裕 090-9007-7380

本事業は新潟県建築士会地域づくり協働支援事業助成金を頂き実施しています

後援：上越市教育委員会
新潟県建築士会上越支部
高田文化協会

上越の歴史的建造物と景観を守る会の活動と本事業の趣旨



一級建築士
代表 磯田一裕

当会は上越エリアにおける「歴史・文化の継承」を理念に掲げ、歴史的建造物及び景観の「保存・再生・活用」を推進するため、主体的に調査・研究と市民への発信や行政等への提言を行い、歴史的建造物と景観を活かしたまちづくりを行う事を目的に令和6年3月に設立した「まちづくり市民団体」です。昨年度は令和6年能登半島地震での被災歴史的建造物を救う道を検討し、上越市に対して文化財ドクターの派遣要請などの要望を行い、そのいくつかは実現しています。また令和7年度は頸城区の歴史的建造物である白田邸を教材として歴史建築講座を春と秋の2回にわたり開催いたしました。

「上越歴史建築・景観フォーラム」は文化講演とテーマに沿ったディスカッションを通して、課題共有と問題解決に向けた取り組みを「みんなで考え、みんなで支える」共創のフォーラムとして年1回実施しており、本年度は瀧本邸の苔庭にスポットを当てて今後の「保存・再生・活用」を市民の皆様と考えていきたいと企画いたしました。

講師紹介



講師 藤井哲郎氏

庭屋一如研究会主宰、新潟日報カルチャースクール講師
邸園文化伝道師。新潟市中央区在住。日本庭園・和風建築鑑賞の愛好者をふやし後世に
のこす活動を県内外で展開。鑑賞法講座の累計回数は570回を超え、各会場で高い評価
を受けている。また「にいがた庭園街道」「上越名家一斉公開」などの文化観光企画を
立ち上げ、文化財の認知度を向上するとともに価値を分かりやすく伝えて、維持保存に
結びつける活動を行っている。

パネラー紹介



◆瀧本宜弘氏

瀧本家第15代当主、高田高校書道非常勤講師。父、頸城(けいじょう)から受け継ぎ頸城書学院を経営。
自称、瀧本邸の清掃員兼管理人。



◆宮崎俊英氏

前小林古径記念美術館館長、上越市立歴博博物館長として文化行政に精通。上越の歴史的建築と文化財全般についての造詣が深く、現在は高田文化協会事務局長及び妙高芸術祭実行委員長として活躍。



◆伊藤春男氏

英香園は明治38年創業の歴史と伝統がある造園会社で、氏は四代目会長。
庭の設計・作庭、維持管理が主な業務で、石積み石組みを得意とする石組み
マイスター。

◆お申込みは右の二次元
コード又はFAXにて
お申し込みください。

◆お問い合わせはメール
にてお願いいたします。

地域住環境建築研究所 磯田まで

TEL&FAX 025-543-6226

Mail tiikiken@gmail.com

参加申込み2次元コード



お 申 込 書	お名前	ご住所	
	メール	TEL	
	○印	・見学会のみ参加 ・フォーラムのみ参加 ・見学会、フォーラム共参加	
ご意見・ご要望			

◆記載いただいた個人情報は当会主催の「歴史建築講座」等の運営に関する業務以外使用いたしません。